

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	臨床心理学概論	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	仁科 伍浩		実務経験の有無・職種	有・小学校教諭	
学習目的					
保育現場における臨床心理学の領域に重点を置き、臨床心理士または公認心理師としての実践活動の概要や、課題について理解することを目的とする。とくに乳幼児期にみられる心理学的な問題や症状、障害について理解を深め、子どもや保護者に対してどのようにアセスメントを行い、心理的支援またはカウンセリングを行っているのかについて学ぶ。また、心理職・福祉職・医療関係者との多職種連携や、予防的な取り組みについても理解を深める。					
到達目標					
臨床心理学の実践が保育現場でどのように行われているかについて説明し、子どもや保護者に対するアプローチの方法を実際の現場で生かすことができるようになることを目標とする。そのためには、保育者としてどのように子どもおよび保護者に声かけや働きかけを行うのか、具体的なイメージができるようにする。また、アセスメントや心理的支援についても、保護者に説明ができるようになることを目指す。保育者と多職種との連携についても知識とスキルを身につける。					
教育方法等					
授業概要	講義に加えて実際のアセスメントの方法や概論についてDVDを用いて学習を行う。また、授業の後半にペアワークやグループワークを採り入れる。ペアワークでは、保育者と子ども、または保育者と保護者のロールプレイングを行い、具体的な関わり方について学ぶ。グループワークでは、他者の意見や考えを尊重し、課題達成に向けて効果的なディスカッションを行うことができるようにする。そして、発表形式によって誰もがリーダーシップを発揮できるようにする。				
注意点	主体的な関わりを重視する。とくに、ペアワークおよびグループワークにおいて、積極的な姿勢が見られない学生には退室を求める。また、授業中の私語や携帯電話の使用については厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。基本的に飲食は禁止だが、水分の補給については申し出がある場合は許可をする。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	乳幼児期における症状および障害について		乳幼児期における症状および障害について理解する		
2回	発達障害とその特徴について		発達障害とその特徴について理解する		
3回	児童虐待の現状と予防、支援方法について		児童虐待の現状と予防、支援方法について理解する		
4回	子どもへの心理アセスメントについて		子どもへの心理アセスメントについて学び、実際の心理検査を体験する		
5回	子どもへのカウンセリング(1)遊戯療法		遊戯療法ついて学び、実際の事例から理解を深める		
6回	子どもへのカウンセリング(2)箱庭療法		箱庭療法ついて学び、実際の事例から理解を深める		
7回	保護者へのカウンセリング		保護者へのカウンセリングについて学び、実際の事例から理解を深める		
8回	まとめ		全体のまとめ・振り返り		
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					